

被災された方の休養施設としての船舶の活用について(最終報)

平成28年5月30日
海事局内航課
九州運輸局海事振興部

■ 八代港でのフェリーの休養施設としての活用について

- 平成28年熊本地震で被災された方々への支援の一環として、防衛省が、民間フェリー「はくおう」を活用して実施してきた宿泊、食事、入浴サービスを、5月29日で終了しました。

【被災者サービスの結果】

期間:4月23日～5月29日(37日間)

被災者受入回数:17回

総利用者数:2,605名

実施体制:防衛省、国土交通省、熊本県等が協力して、利用者の募集・連絡、送迎等を実施

- 利用された方からは、「余震など気にせずぐっすり眠ることができました。」「避難生活でお風呂もままならない中、お風呂や食事を頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。」等の言葉を頂いております。

本件担当:海事局内航課 金子、小森、岡村(内線 43402、43412、43472)

代表:03-5253-8111